

晩発障害

晩発障害 ばんぱつしょうがい

放射線障害のうち、放射線を被ばくしてから、その障害の発症までの潜伏期間の長いものをいう。この障害として、各組織、臓器のがん、白血病などの悪性腫瘍、寿命短縮（老化）、白内障などがあげられる。それらの障害の、発症には数十年以上かかることがある。

<登録年月>

1998年01月
